

第2回経営発達支援計画に関する連絡会議議事録

日 時 令和5年3月3日(金) 午前11時～

場 所 南部町商工会館

出席者 山田賢司、夏堀文孝、田島 豪、本田篤、米田吉宏、高木功、
後村英徳、橘靖之、川門前淳哉、夏堀外志生、木村明人

定刻、中里事務局長司会により第2回経営発達支援計画に関する連絡会議を開催する旨宣し、開催に先立ち山田会長より本日の出席者に対して感謝の挨拶がありその後、山田会長を座長に懇談へと入った。

① 令和4年度経営発達計画評価について

事務局蛭澤経営指導員より、資料1に基づき経営発達支援事業内容1から6までの項目につき、実施事業・定量目標・実績そして支援力向上のための取組等説明がなされた。

② 意見交換会

【主な意見】

・コロナ禍でもこれだけの事業を実施し効果が得られていると高評価ができる。経営発達支援は非会員への指導が増えれば会員増にも繋がるのではないかと。商工会PRも必要である。コロナ支援金等の支援で会員減少は鈍化しているが、今後はコロナの後始末等、今までどおりではいかなくなるので、構造改革が必要である。

・新たな需要の開拓に寄与する事業等については、公庫でもJRとタイアップした商談会等を実施しているため、今後は商工会にも利用して頂きたい。また地域に必要な事業を残し次世代につなぐ事業承継手段であるM&Aについては、マッチング支援にも登録して頂き、今後は「1日公庫」等で融資相談のほかにM&Aセミナーなどの承継支援をあわせて開催するなど連携を図り取り組んでいきたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰り等の相談事業所から、支援金の手続きを支援している商工会の加入について相談されることもある。また事業承継やM&Aセミナーは、地元に着している商工会と連携して、商工会員の方々にも参加して頂くなど今後は必要と考えている。

・人口減少や人口流出をふせぐには、事業者の存続が最も重要であり、特にM&Aはコロナ禍には事業承継の要であり、最近は買い手が多いこともあり、売り手の情報を持っている商工会や地域の皆さんと引続き情報共有し支援していきたい。

・コロナ禍のため2年ぶりに商談会等を開催した際、事業所の方の意見を直接聞き、様々情報共有もできた。今後は物産展・商談会も増えると見込まれるため、ポストコロナを見据えた対応を期待したい。

最後に今回の審議結果及び総合評価結果を参考に、今後の計画に盛り込み事業を実施していきたい旨を説明した。

本連絡会議は無事終了した。

評価結果

令和4年度南部町商工会経営発達支援計画総合評価

I. 経営発達支援事業の内容	評定平均	A	B	C	D	E	F	G	コメント
①地域の経済動向調査に関する こと	5.00	5	5	5	5	5	5	5	
②需要動向調査に関する こと	5.00	5	5	5	5	5	5	5	
③経営状況の分析に関する こと	4.71	5	3	5	5	5	5	5	
④事業計画策定支援に関する こと	4.71	5	3	5	5	5	5	5	
⑤事業計画策定後の実施支援に 関すること	4.71	5	3	5	5	5	5	5	
⑥新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	4.14	3	3	3	5	5	5	5	・関係機関が行う商談会に参画する方法もあるのではないかと。 ・物産展、商談会はポストコロナを見据えた対応をお願いしたい。
II. 経営発達支援事業の円滑な 実施に向けた支援能力向上への 取組	5.00	5	5	5	5	5	5	5	

総合コメント

- ・ 支援計画の定量目標に対し、概ねの事業で目標の実績はクリア出来ているため高評価できる。
- ・ 新たな需要の開拓については、コロナあけで機会も増えると見込まれるため、関係機関と連携し実施して頂きたい。

総合評価の基準

- (5点) → 実施され効果(活用)がみられたもの、若しくは期待できるもの
- (3点) → 実施されたが効果(活用)がみられないもの
- (1点) → 実施されなかった若しくは実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの